

# エコアクション21 環境経営レポート



**有限会社 タイワ**

**2024年度**

**対象期間2024年4月1日から2025年3月31日**

**発行日 2025年5月15日**

**改訂日 2025年7月18日**

**代表取締役 河合 一樹**

# 【目次】

1.環境経営方針	P3
2.事業の概要	P4
3.対象範囲（認証・登録範囲）	P7
4.環境管理組織図	P8
5.環境経営目標（中期目標）	P9
6.環境経営目標とその実績と評価、次年度への取組	P10
7.処理実績	P14
8.社内の取組一例	P15
9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P16
10.代表者による全体評価と見直し結果	P16

# 1.環境経営方針

## 【基本理念】

有限会社タイフは、産業廃棄物処分及び産業廃棄物収集運搬を業としていることを踏まえて、環境に配慮した企業を目指し、社員一丸となって、循環型社会に貢献できるように努めます。

## 【基本方針】

- ①建設系産業廃棄物等の再資源化率を上げます。
- ②二酸化炭素の排出量を削減します。
- ③電気・軽油等の使用量の削減及び効率的に使用します。
- ④水使用の適正管理に努めます。
- ⑤グリーン購入を積極的に行います。
- ⑥関連する法規制等を遵守することを制約します。

全社員は環境経営方針を周知し、環境に配慮した事業活動に心掛け環境経営の継続的改善に取り組みます。

制定日 2008年11月11日  
改定日 2020年 6月 1日  
有限会社タイフ  
代表取締役 河合 一樹

## 2. 事業の概要

### 【会社の概要】

事業所名	有限会社 タイワ
代表者	代表取締役 河合 一樹
所在地	〒236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町14番地4
設立	2002年3月27日
資本金	500万円
事業の内容	産業廃棄物処分業（中間処理） 産業廃棄物収集運搬業

### 【環境管理責任者】

環境管理責任者 事務局 電話番号 ファクス番号 E-mail	大越 典子 前田 和久 045-771-4764 045-771-2457 n-ookoshi@ninus.ocn.ne.jp
--	---

### 【事業の規模】

	単位	2024年度
売上高	百万円	1,186
従業員	人	26
床面積	m <sup>2</sup>	1,958

### 【受託産業廃棄物量】

	2024年度
収集運搬量	906t
受入量	21,532 t
処分量	21,532 t
リサイクル量	13,511t

### 【産業廃棄物処理費】

内容	処理費	収集運搬費
廃プラスチック類	10,000円/税別	車種、地域により お見積り

## 2-1.許可内容一覧表

2-1・産業廃棄物許可内容一覧表

都道府県・政令都市	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類																				
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラスくず	がれき類	鉱さい	ばいじん					
産業廃棄物処分業	横浜市	第0520085023号	令和4年8月1日	令和9年7月31日																				
		破碎1	48.60 t /日																					
		破碎3	3.96 t /日																					
		破碎4	95.5 t /日																					
		切断1	61.29 t /日																					
		圧縮1	3910.5 t /日																					
		圧縮2	22.0 t 日×3																					
		選別	150.0 t /日																					
産業廃棄物収集運搬業	横浜市	第05610085023号	令和4年6月1日	令和9年5月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	神奈川県	第01402085023号	令和4年11月18日	令和8年7月9日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	東京都	第1300085023号	令和4年7月1日	令和9年6月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	千葉県	第01200085023号	令和4年8月23日	令和9年7月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	埼玉県	第01101085023号	令和4年7月22日	令和9年6月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	茨城県	第00801085023号	令和4年10月17日	令和9年7月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	群馬県	第01000085023号	令和3年6月23日	令和8年6月22日																				
	栃木県	第00900085023号	令和3年3月27日	令和8年3月26日																				
	静岡県	第02201085023号	令和4年5月2日	令和9年5月1日																				
	横浜市収集・運搬（積替え又は保管を含む）				保管施設の概要及び産業廃棄物の種類																			
所在地	横浜市金沢区鳥浜町14-30 外1筆																							
保管面積：9.56㎡	汚泥、廃プラスチック類（石綿産業廃棄物を含む）、 金属くず（石綿産業廃棄物が付着したものを含む）																							
保管上限：9.38㎡	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿産業廃棄物を含む）、 がれき類（石綿産業廃棄物を含む） 以上5種類																							
所在地	横浜市金沢区鳥浜町14-6																							
保管面積：235.09㎡	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																							
保管上限：264.0㎡	がれき類 以上8種類																							
産業廃棄物再生事業者 （古紙・金属くず・廃プラ・建設 廃材）	登録番号	登録年月日																						
	第G00214号	平成17年5月2日																						

「排出事業者」 「運搬」 「受入・前選別」 「処理品目」 「事業の用に供する施設」 「再生・最終処分」

施設処理能力 日/4335.85t

**自社収集運搬分**  
 【主な取引先】  
 ・建設会社  
 ・解体業者  
 ・不動産管理業  
 ・倉庫業  
 ・その他事業場  
 【収集運搬品目】  
 ①金属くず  
 ②廃プラスチック類  
 ③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず  
 ④がれき類  
 ⑤木くず  
 ⑥紙くず  
 ⑦繊維くず  
 ⑧ゴムくず  
 ⑨石膏ボード

**他社搬入分**  
 【主な取引先】  
 ・各収集運搬業者  
 ・各解体業者  
 ・その他各事業場(持込)  
 【処分許可品目】  
 ①金属くず  
 ②廃プラスチック類  
 ③ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず  
 ④がれき類  
 ⑤木くず  
 ⑥紙くず  
 ⑦繊維くず  
 ⑧ゴムくず  
 ⑨石膏ボード

計量後、廃棄物目標を実施。受入れた廃棄物を最大限有効活用させる為、荷降し前の段階で各廃棄物の性状、形状等を見極め、適正施設への荷降しを徹底する。粗選別後も同様を実施する。



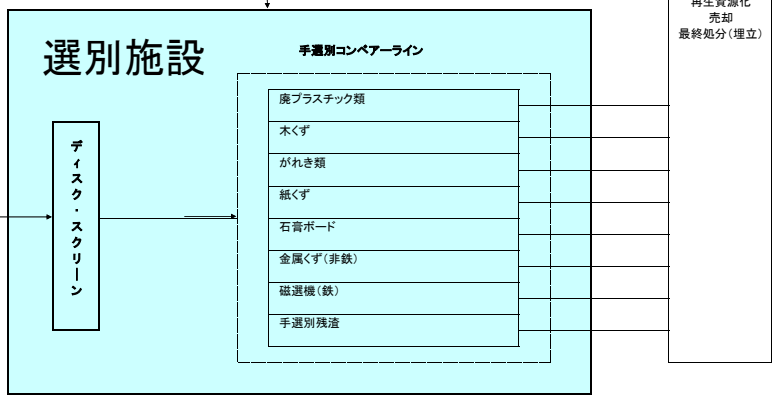
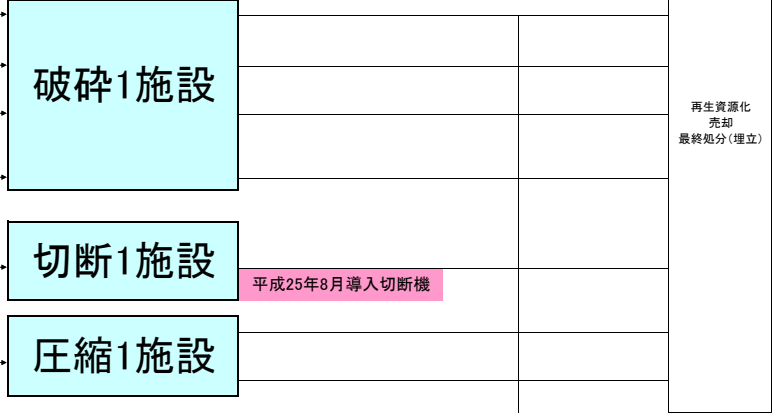
「T A I W A 中間処分場(1)」

「T A I W A 中間処分場(2)」

「タイワリサイクルステーション」

- ① 廃プラスチック類
- ② 紙くず
- ③ 木くず
- ④ 繊維くず
- ⑤ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑥ 安定型混合廃棄物  
廃プラスチック類、金属くず、がれき類  
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑦ 廃プラスチック類、繊維くず、金属くず
- ⑧ 可燃混合廃棄物  
紙くず、繊維くず、木くず、ゴムくず  
廃プラスチック類

- ⑨ がれき類・ガラス陶磁器くず  
(建設廃材)
- ⑩ 廃プラスチック類  
(硬質・軟質)
- ⑪ 紙くず、繊維くず、  
廃プラスチック類、金属くず
- ⑫ 混合廃棄物  
紙くず、繊維くず、木くず、ゴムくず  
廃プラスチック類、金属くず、がれき類  
ガラスくず、コンクリートくず及び  
陶磁器くず



再生資源化  
売却  
最終処分(埋立)

再生資源化  
売却  
最終処分(埋立)

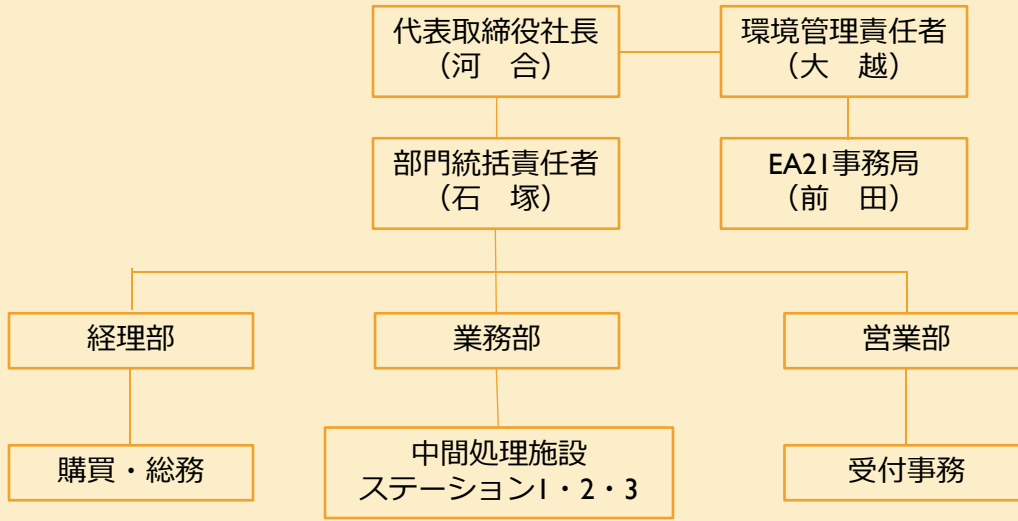
## 2-3. 車両一覧表

	車両番号	車種	最大積載量	車検有効期限
<b>産業廃棄物専用</b>				
1	横浜 100 は 6948	脱着装置付 コンテナ車	10 t	令和8年2月17日
2	横浜 100 は 7529	脱着装置付 コンテナ車	10 t	令和7年9月12日
3	横浜 100 は 5262	キャブオーバ	4 t	令和8年5月28日
4	横浜 100 そ 5846	脱着装置付 コンテナ車	4 t	令和8年2月19日
5	横浜 100 た 700	脱着装置付 コンテナ車	4 t	令和8年3月26日
6	横浜 100 た 8687	脱着装置付 コンテナ車	4 t	令和8年3月17日
7	横浜 400 め 1447	脱着装置付 コンテナ車	3 t	令和7年9月23日
8	横浜 800 ち 8239	<small>じんかい</small> 塵芥車	4 t	令和7年9月10日

### 3. 対象範囲（認証・登録範囲）

本社・工場（中間処理）産業廃棄物処分業・産業廃棄物収集運搬業  
（全組織・全活動を対象）

## 4. 環境組織図



実施	責任及び権限
代表取締役	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境管理責任者の任命</li> <li>2. 環境経営方針の策定</li> <li>3. 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備</li> <li>4. 全体の評価と見直し</li> <li>5. 社内情報の外部公開可否の決定</li> <li>6. 経営における課題とチャンスの明確化</li> </ol>
環境管理責任者 (EA21事務局)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営システムの確立・実施・維持・継続的改善</li> <li>2. 代表者へ環境経営システムの実施結果の報告</li> <li>3. EA21事務局の運営管理</li> <li>4. 各部門に対し、教育訓練を適切に計画・実施する</li> <li>5. 代表者の指示に基づき、EA21の推進を行う</li> <li>6. 環境関連法規等のとりまとめ及び順守状況の確認</li> <li>7. 書類及び記録の作成・管理</li> </ol>
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境経営システムの方針、実施計画を各部門で実施・維持・継続的改善する</li> <li>2. 問題に対する是正処置</li> <li>3. 各部門の評価・見直しを行う</li> </ol>
全員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 方針・目標・活動計画に基づき活動する</li> <li>2. 緊急時の対応</li> <li>3. 各自担当（役割を決める）</li> </ol>

### 役割分担（負荷の削減）

工場部門：廃棄物のリサイクル・重機燃料の削減・機械類の電気の削減・地域貢献（近隣清掃）・安全作業

営業部門：社用車のガソリンの削減・顧客への分別排出の推進

業務部門：経理管理からの各部門への発言

全 体：以上を、目標活動する事で経費の削減/CO2の削減が出来る・環境教育（訓練）

### 5.環境経営目標（中期目標）

活動目標	基準年度	中期目標値			
	2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
1. 受託廃棄物の資源化(リサイクル率)	50.08% 受託廃棄物/28,067t リサイクル量/14,057t	51.08% 基準年度より2%向上	51.58% 基準年度より3%向上	51.06% 全年度より1%向上	50.54% 全年度より1%向上
2. 二酸化炭素総排出量の削減	407,527kg-CO2	399,376kg-CO2 基準年度より2%向上	395,301kg-CO2 基準年度より3%向上	391,347kg-CO2 前年度1%削減目標	387,433kg-CO2 前年度1%削減目標
原単位	14.51kg-CO2/t	14.21kg-CO2/t	14.07kg-CO2/t	13.92kg-CO2/t 前年度1%削減目標	13.78kg-CO2/t 前年度1%削減目標
2-1.電気使用量の削減	216,735kwh	212,400kwh 基準年度より2%向上	210,232kwh 基準年度より3%向上	208,129kwh 前年度1%削減目標	206,047kwh 前年度1%削減目標
原単位	7.72kwh/t	7.56kwh/t	7.48kwh/t	7.40kwh/t 前年度1%削減目標	7.32kwh/t 前年度1%削減目標
2-2.軽油使用量の削減	114,913 ℓ	112,614 ℓ 基準年度より2%向上	111,465 ℓ 基準年度より3%向上	110,350 ℓ 前年度1%削減目標	109,246 ℓ 前年度1%削減目標
原単位	4.09 ℓ /t	4.00 ℓ /t	3.96 ℓ /t	3.92 ℓ /t 前年度1%削減目標	3.88 ℓ /t 前年度1%削減目標
3.廃棄物の削減（一般廃棄物）	2.44 t	2.39t 基準年度より2%向上	2.36t 基準年度より3%向上	2.33 t 前年度1%削減目標	2.30 t 前年度1%削減目標
4.水使用量の適正管理	1165㎡	1141㎡ 基準年度より2%削減	1130㎡ 基準年度より3%削減	1118㎡ 前年度1%削減目標	1106㎡ 前年度1%削減目標
5.紙使用量の適正管理（コピー用紙等）	244kg	239kg 基準年度より2%削減	236kg 基準年度より3%削減	233kg 前年度1%削減目標	230kg 前年度1%削減目標

・購入電力（リミックスポイント）の二酸化炭素基礎排出係数は、0.484kg-CO2になります。（環境省・経産省 令和7年3月18日公表）

・基準年度を見直し、コロナ後を参考に2022年度とします。

・化学物質の使用はありません。

$$\text{受託廃棄物の資源化（リサイクル率）} = \frac{\text{リサイクル量（t）}}{\text{受託廃棄物（t）}} \times 100$$

・原単位は、受託廃棄物量（t）あたりのCO2排出量、及び、電気・軽油の使用量です。

## 6.環境経営目標とその実績と評価、次年度への取組

評価： ○：達成  
△：一部達成  
×：未達成

### 6-1 受託廃棄物の資源化



目標	実績
2024年度	2024年度
51.08%	62.75%
受託廃棄物／28,067 t リサイクル量／14,336 t	受託廃棄物／21,532 t リサイクル量／13,511 t

**取組内容**：1. 閑散期には手選別に力を入れる → ○  
2. 積極的な雇用促進による人員確保 → ×  
3. 引き続き新規リサイクル処分先の開拓を行う → ○

**結果**：1. 搬入減少により徹底的な手選別によりリサイクル化が出来た  
2. 求人活動を行うが、人員獲得に至らなかった  
3. 新規のリサイクル処分先の確保が出来た

**次年度への取組**：1. 引き続き手選別に力を入れる  
2. 積極的な雇用促進を引き続き行う  
3. 新規リサイクル処分先の開拓を行う ...など

### 6-2 二酸化炭素の排出量



目標	実績
2024年度	2024年度
399,376kg-CO2	355,288kg-CO2
14.21kg-CO2／t (原単位)	16.50kg-CO2／t (原単位)

**電気及び軽油の取組内容**：1. 作業効率化を図り排出抑制に取り組む → ○  
2. エネルギー使用量の掲示をして節約の意識を維持 → ○

**結果**：1. 2024年度 二酸化炭素総排出量は355,288kg-CO2であった  
2. 燃料費高騰などで全体的に節約傾向となり抑制につながった  
3. 搬入量減少によるところが大きく排出量減少にはなったが、t 当たり排出量は増えている

**次年度への取組**：1. 燃料費高騰などで全体的に節約傾向にあり、目標は達成しているが微量であるので、作業効率化を図り更なる排出抑制に取り組む  
2. エネルギー使用量の掲示をするなど、節約の意識を維持しながら社員全体で排出抑制に取り組む ...など

## 6.環境経営目標とその実績と評価



### 6-2-1 電気の使用量

目標	実績
2024年度	2024年度
212,400kwh	220,414kwh
7.56kwh / t (原単位)	10.23kwh / t (原単位)

- 取組内容** : 1. 太陽光パネルの清掃を増やす → △  
 2. 作業の効率化を図り、営業時間内に業務を完了させること → ○  
 3. エアコン使用時の温度設定（夏28度・冬20度）の掲示 → ○

- 結果** : 1. 散水による清掃を行った（年2回）  
 2. 休日や、終業間際の受入もあり、時間外の作業もあった  
 3. 換気、猛暑の影響もあり、順守出来ないこともあった

- 次年度への取組** : 1. 太陽光パネルの清掃頻度を増やす  
 2. 更なる作業効率化を図る  
 3. 毎月の電気使用量をグラフ化し、節約の見える化を図る

### 6-2-2 軽油の使用量



目標	実績
2024年度	2024年度
112,614ℓ	89,532ℓ
4.00ℓ / t (原単位)	4.15ℓ / t (原単位)

- 取組内容** : 1. トラックの計画的運行により使用量の抑制 → ○  
 2. 重機の定期的なメンテナンスの実施 → ○

- 結果** : 1. 収集運搬量の減少、計画的運行により前年より11,530ℓ減少となったが、搬入量の減少によりt当たり使用量は増加  
 2. 重機の日々の清掃・定期点検を行った

- 次年度への取組** : 1. t当たりの使用量の更なる減少のため、引き続き更なるトラック・重機の計画運転の実施を行う  
 2. 引き続き重機の定期的なメンテナンスの実施

### 6-2-3 廃棄物の削減（一般廃棄物）



目標	実績
2024年度	2024年度
2.39 t	2.14 t

**取組内容**：1. 再資源化出来る廃棄物の分別の徹底 → ○

**結果**：1. 分別の徹底により、目標より19%減量に成功した

**次年度への取組**：1. 引き続き分別の徹底を行う

### 6-2-4 水使用量の削減



目標	実績
2024年度	2024年度
1,141 t	1,468 t

**取組内容**：1. 水漏れの早期発見のための見回りの徹底 → ○  
 2. 手洗い場等に節水の掲示 → ○

**結果**：1. ① 昨年の水使用量より613 t 減少した  
 ② 1月に、点検による水漏れを発見し未然に防ぐことが出来た

**次年度への取組**：1. 目標には届かなかったが、取組内容が反映された結果となりました  
 2. 猛暑対策のためのミスト散水は顧客・従業員に非常に好評であるため引き続き行っていく予定であるが、節水の掲示などの対策を並行して行う

### 6-2-5 紙使用量の削減（コピー用紙等）



目標	実績
2024年度	2024年度
239kg	236kg

- 取組内容** : 1. 裏紙の再利用、FAX出力の選択 → ○  
2. 電子化の促進による紙使用削減 → ○

- 結果** : 1. 裏紙・ミスコピーの再利用、皆で徹底が出来ました  
2. マニフェスト・契約書の電子化を進めていくことが出来ました  
...など

**次年度への取組** : 1. 目標達成に成功しました  
次年度より、請求書の電子化も進めることになっており  
引き続き紙使用量の削減に努めます

7. 処理実績 受託した産業廃棄物の処理量 及び リサイクル量

	廃棄物の種類	処分方法	2024年度
収集運搬	廃プラスチック類		627.02 t
	紙くず		11.59 t
	木くず		124.89 t
	繊維くず		1.07 t
	金属くず		415.54 t
	がれき類		74.56 t
	ガラスくず		67.18 t
	石綿含有廃棄物		0 t
	<b>収集運搬合計</b>		<b>906.31 t</b>
中間 処分量	廃プラスチック類	破碎・圧縮・選別・切断	11,204.43 t
	紙くず	破碎・圧縮・選別	376.84 t
	木くず	破碎・圧縮・選別	1,980.81 t
	繊維くず	破碎・圧縮・選別・切断	243.44 t
	金属くず	破碎・圧縮・選別・切断	520.70 t
	ガラスくず、 コンクリートくず	破碎・圧縮・選別	4,168.51 t
	がれき類	破碎・圧縮・選別	3,038.18 t
	<b>中間処分量合計</b>		<b>21,532.91 t</b>
中間処分 後 再資源化	廃プラスチック類	固形燃料 セメント原料	4,831.44 t
	紙くず	固形燃料 リサイクル原料	186.74 t
	木くず	固形燃料 リサイクル原料	1,682.71 t
	繊維くず	固形燃料 リサイクル原料	96.41 t
	金属くず	リサイクル原料	427.12 t
	ガラスくず、 コンクリートくず	リサイクル原料 再生路盤材	3,564.14 t
	がれき類	再生路盤材	2,722.82 t
	<b>再資源化合計</b>		<b>13,511.38 t</b>
最終 処分	安定型混合廃棄物	安定型埋立処分	2,848.61 t
	管理型混合廃棄物	管理型埋立処分	5,172.92 t
		<b>合計</b>	<b>8,021.53 t</b>

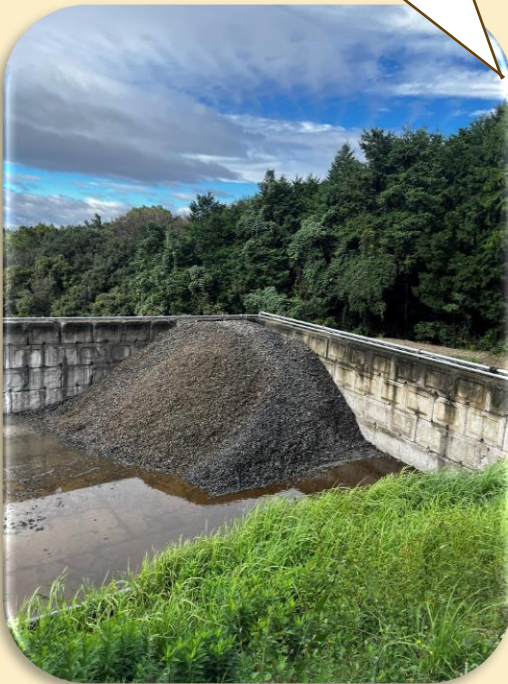
## 8.社内の取組一例



消防訓練を実施しました！  
(2024.12.28)

年末の大掃除終了後、消火訓練を行いました。  
消防署よりお借りした消火器で消火訓練を実施しました。

固形燃料製造工場の見学をしました。  
廃棄物が固形燃料となるまでの製造の過程を学びました。



省エネのためエアコン温度設定の  
掲示をしています。



## 9. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

過去3年間、以下の環境関連法令等への違反・訴訟及び関係当局からの指摘はありません。

また、外部からの苦情等もありません。

- ・ 廃棄物処理法
- ・ 横浜市生活環境の保全等に関する条例
- ・ 横浜市火災予防条例
- ・ 特定特殊自動車排出ガス規制法
- ・ 自動車Nox・PM法
- ・ フロン排出抑制法
- ・ 家電リサイクル法

## 10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

(全体の評価と指示)

- ・ リサイクル率については搬入量が減少しているなかにおいて、新規リサイクル先の獲得・分別の徹底ができ、昨年の目標の成果が出たと思う。
- ・ 電気・水道使用量が未達成であった。電気については、太陽光パネル・照明のLED化はしているが、消費電力の多い圧縮機・破砕機は常に稼働している為、場合により一時停止の運用が可能か検討したいと思う。しかし、CO2総排出量は大幅に減少出来たことは評価したい。
- ・ 受託量が減っているときこそ、資源化を進めながら各項目での目標達成に向け、社員一丸となって取り組むよう指示した。

(見直しの結果)

1. 環境経営方針：見直しはありません。
2. 環境経営目標及び環境経営計画：環境経営目標の基準年度を2022年度実績に見直しました。
3. 実施体制：見直しはありません。